朝日町特産品

「柑橘姉妹」のみかんを新たな特産品として認定しました！

このたび、朝日町埋縄で「柑橘姉妹」が生産する「みかん」を、新たに朝日町特産品として認定しました。

朝日町では、かつてみかん栽培が盛んに行われていましたが、宅地化や生産者の高齢化などにより、その姿は見られなくなってきました。そんな中、埋縄地区のみかん畑で栽培に取り組んでいるのが「柑橘姉妹」です。

木曽三川にほど近く、伊勢湾から吹く風と温暖な気候に恵まれた朝日町。昼夜の寒暖差の中でじっくりと甘味を蓄えた、甘味と程よい酸味のバランスが特徴のみかんです。

収穫の際には、一玉ずつ状態を確認しながら丁寧に手摘みし、収穫後も傷や品質を確認して出荷されています。ＪＡ系の直売所で「朝日町産みかん」として販売されているほか、Instagramを通じて栽培の様子や朝日町のみかんの魅力を発信しています。

かつて町内で盛んだったみかん栽培を、新たな形で未来へつなぐ「柑橘姉妹」のみかん。朝日町の新たな特産品を、ぜひ味わってみてください。



Instagram：
@kankitu.shimai

主な販売所：
ＪＡ四季彩（大矢知店・尾平店・西店・内部店）

問い合わせ先：産業建設課　TEL 377－5658

朝日まちなみプラン

まちなみ通信　第62号

「朝日まちなみプラン」を住民の皆さんにより身近に感じていただくため、プランに基づく町や地域の皆さんの動きを≪まちなみ通信≫として紹介します。

東海道古民家〇マルシェを開催しました！

10月４日（日）、朝日町縄生地区の東海道沿いにある古民家を会場に、朝日まちなみ検討会主催・朝日町共催により「東海道古民家〇マルシェ」が開催されました。

当日は、飲食やハンドメイド作品、フォトブースなど、さまざまな分野の出店者が集まり、古民家には多くの来場者が訪れました。会場では、古民家ならではの雰囲気を楽しみながら、出店者との会話や買い物、体験などを楽しむ姿が見られました。また、朝日まちなみ検討会による活動紹介や「古民家100円市」も行われ、古民家の新たな活用方法を知っていただく機会となりました。

今回のマルシェは、地域の皆さんに古民家を身近に感じてもらうとともに、「自分もここで何かやってみたい」と思ってもらえる場所にしていくことを目的の一つとして開催したものです。来場者アンケートでは、マルシェについて「とても満足」「満足」と回答した方が81.1％、古民家を会場としたことについて「とても良かった」「良かった」と回答した方が91.9％にのぼりました。また、マルシェを通じて朝日町の古民家に「とても興味を持った」「興味を持った」と回答した方も89.2％となりました。

さらに、「自分も古民家で何かをやってみたい」という声もあり、具体的なアイデアも寄せられています。今回のマルシェをきっかけに、古民家が地域の皆さんの交流や新たな活動が生まれる場所となることが期待されます。

ご来場いただいた皆さん、出店者の皆さん、開催にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！







朝日まちなみ検討会活動の様子はInstagramで発信中！

問い合わせ先
産業建設課　TEL 377－5658